

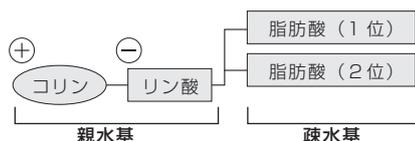
食品用卵黄素材 卵黄油 LPL-20S

キューピーの「卵黄油 LPL-20S」は、レシチン(PC=ホスファチジルコリン)を含む鶏卵の卵黄を、酵素(ホスホオリパーゼ A₂) で加水分解した後、脂質成分を抽出したもの(酵素処理卵黄油)です。リゾレシチン(LPC=リゾホスファチジルコリン)等を多く含むため、消化吸収が良く、食感や安定性に優れた食品製造ができます。

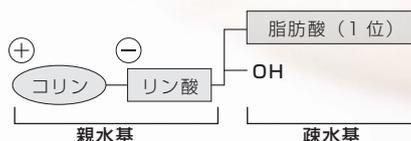
リゾレシチンとは

リゾレシチンは脂肪酸が1つはずれることで分子内の親水性が増し、レシチンに比べより安定な O/Wエマルジョンをつくることが知られています。

ホスファチジルコリン (PC)



リゾホスファチジルコリン (LPC)



一般的に酸性域や塩類存在下での乳化安定性も他の食品用乳化剤(シヨ糖脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル等) に比べ優れています。

また、リゾレシチンは澱粉中のアミロースと複合体を作りやすく、特に卵黄リゾレシチンは、顕著な澱粉の老化防止効果や品質改良効果が見られます。

商品名	用途	表示例※1	保証期間※2 (保存方法)	包装形態
卵黄油 LPL-20S	アイスクリーム、プリン、 レトルト食品、 缶詰、麺類、パン類、 冷凍食品 等	「酵素処理卵黄油 (卵を含む)」 「卵黄油 (卵を含む)」 など	12 ヶ月 (10℃以下)	10kg (1kg×10) 15kg (15kg×1)

※1 本品に含有されるアレルギーに関する特定原材料名：卵

※2 保証期間は製造後未開封状態での期間です (1 ヶ月は 30 日として換算)。

卵黄油 LPL-20S

商品の特徴

キューピーの「卵黄油 LPL-20S」は、
リゾリン脂質を約 20%含有した酵素処理卵黄油です。
リン脂質に比べ、リゾリン脂質は乳化特性に優れています。

卵黄油（卵黄レシチン）に関する代表的な特許の概要

（※特許の権利範囲等の詳細は、特許公報をご確認ください。）

・特許 第 5683762 号：リゾリン脂質を含有するプリン及びその製造方法

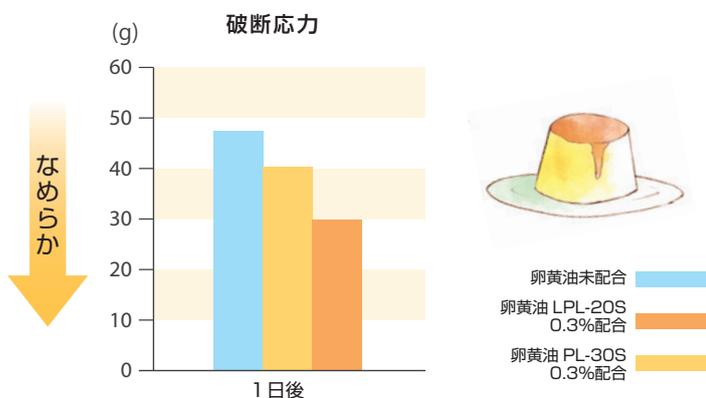
規格及び分析値一例

	規 格	分析値一例
性 状	本品は明るい黄味橙色の油状物質で、わずかに特有の芳香を有する。	適
* 酸 価	40 以下	24
* ヨウ素価	65 ~ 85	73
* 過酸化物価	5meq/kg 以下	0meq/kg
* 重 金 属	10 μ g/g 以下	10 μ g/g以下
* ヒ 素	1.5 μ g/g 以下	1.5 μ g/g以下
アセトン不溶物	20%以上	26%
* 乾 燥 減 量	5.0%以下	1.4%
一般生菌数	1,000 以下 /g	10以下/g

*：保証項目とし、ロット毎の試験は行いません。

物性改良機能

<プリン配合におけるなめらかさの効果>

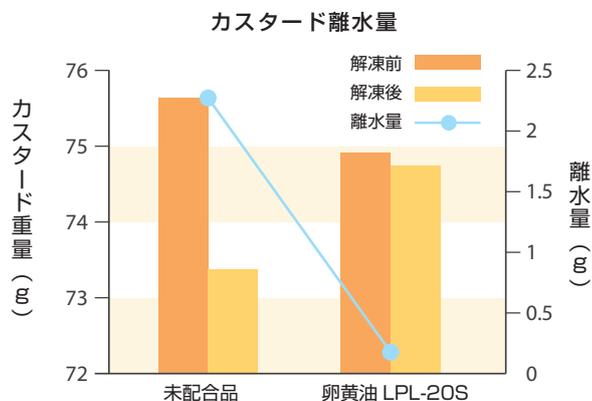


卵黄油 LPL-20S を 0.3%配合したものが最も破断応力が小さい傾向が見られました。卵黄油 LPL-20S を配合するとなめらかさが付与されます。
(0.5%配合するとさらになめらかになります。)

<カスタード配合における離水量>

●方法

カスタードクリーム作成→冷凍 (期間：2ヶ月間)→解凍 (8時間)→離水量測定



卵黄油 LPL-20S を添加したものは離水量が格段に抑えられました。